

# INTERVIEW No.42



マサカズ（左） ルキア（右）

## マルザ

- ♠ 所沢中央高校出身
- ♥ バスケ部で出会い、お互いマジックをやっていたことから意気投合
- ♠ 高校卒業後にマジックデュオ「マルザ」を結成
- ♥ 独自のスタイルと驚異的な技術で観客を魅了し、SNSの総フォロワー数は40万人、動画再生回数は6億回を突破している。

### マジックを始めたきっかけは

中学3年生のときに、簡単なマジックの種明かし動画があったのをたまたま見つけて、友達にやってみたらすごく驚いてくれたのが面白いと思い、その気持ちがあんどん大きくなって今の仕事につながっています。

### 続々と創出されるマジックに思うことは

新しいマジックの技術や仕掛けは常に進化していますが、人々が「面白い」と感じ、長く愛される定番のマジックはあまり変わりません。それを誰が、どうやるかが見せ所だと思います。

### 市内でマジックを披露したことがある場所は

小学校で何校か披露しています。また、東所沢マルシェ広場や、旧新所沢パルクでもやらせてもらいました。他にも、企業の方に声をかけていただいて、市内の飲食店で開催される忘年会等でマジックを披露することもあります。

4月にはミューズのマーキーホールでもショーを行いました。小学生までは無料で、ステージ終了後はワークショップを開催し、多くの方々にマジックの魅力を伝えられたと思います。

### マジシャンを目指す人へアドバイス

コロナ禍のとき、マジックとかエンターテイメントは食事や衣服とは違い、絶対に必要なものではなかったため、マジックをやる意味をすぐ考えました。

僕たちがマジックを届けることで、こどもたちが家に帰ってからもマジックの面白さをお父さんやお母さんに話したくなる。そんな風に、マジックが、家族の会話が弾みかけになれたら、これほど嬉しいことはありません。どうしてマジックをやるのか、自分の考えをしっかり持つことが大切だと思います。

### 今後の目標は

今年SNSのフォロワー数100万人を目指して頑張りたいと思っています。そしてマジシャンと言えば「マルザ」だと思ってもらい、マジシャンという職業自体が今よりもっと憧れの存在になり、カッコいい、なりたいと思えるきっかけになったらと思っています。



### 議員たちの…

## 春

新年度がスタートして一か月、諸団体の総会も一区切りです。

花粉症も去り、議員16年目に入ると、健康第一です。（松本）

桜、ハナミズキを満喫した時間が過ぎ、これからは、昆虫（アゲハ蝶など）が元気な姿を見せる、さらに楽しみな季節を迎えます。（谷口）

市民の何気ない一言が背中を押し、新たな決意とともに希望の芽を育てていく季節です。（福原）

### 広聴広報委員会

- ◎石本 亮三 長谷川 礼奈
  - 山口 浩美 松本 明信
  - 齊藤かおり 谷口 雅典
  - 神戸 鉄郎 福原 浩昭
  - 中井めぐみ 青木 利幸
  - 矢作いづみ 秋田 孝
- ◎…委員長 ○…副委員長

所沢市議会

検索



次の定例会議は6月1日（月曜）から開催予定です。

ところざわ市議会だよりは2月、5月、8月、11月の15日に発行。戸別配布でお届けしています。配布のお問い合わせは、所沢市シルバー人材センター ☎2928-8695 FAX2924-0630 まで。